

## 令和3年度 第1学期 終業式 式辞

令和3年度の1学期が本日をもって終わりとなり、明日からは、いわゆる夏休みとなります。過ぎてしまえば、あっという間であった1学期ですが、生徒諸君にとって、この1学期はどうだったでしょうか。私は校長として、みなさんの学校での様子を見ていて、今年特に強く感じたことは、この春本校に入学したり、新しい学年に進級したりする飯中生にとって、春の空気と共に膨らんだ大きな希望や、やる気に満ちた前向きな思いは、明らかに例年の春とは違うものであったということです。昨年度は、おっかなびっくり周りを伺いながら、6月からの分散登校に臨んでいましたが、今年の春は、いつもの年と同じ4月8日に学校が始まりました。昨年度はあらゆる学校行事がことごとく中止となってしまいました。その中で、君達はどんな思いで日々過ごしていたのか、そしてまだ、十分に感染防止に留意した行動をとらなければならない日々ではありますが、新しい学校、新しい学年やクラスで今年こそは、思いきり楽しく学校生活を送りたい、前向きに新たな自分でがんばりたい、という強い思いが伝わってくるスタートだったのをはっきりと覚えています。そしてそのような思いの君達に伝えようと、保健体育の先生を中心に、5月には、今までとはやり方を変えての体育祭を行うことができました。本校の先生方は、飯沼中の生徒達になんとか体育祭をやらせたい、そしてその経験を通して、たくさんのことを学び、成長させたいという思いで様々なことを考え、工夫してくださいました。また、君たち自身も保健体育の授業を中心に、ラベンダー体操や飯中ソーラン、そして学年種目をよく練習し、クラス、学年、学校がよくまとまり、当日みなさんの姿を参観に来た保護者の皆様も大変満足されていました。

私は、今年の体育祭の取り組みを通して、「道は切り拓くことができる」ということをみなさんの胸に刻んでほしいと思っています。「コロナ禍だから仕方がない」と言ってあきらめてしまうことは簡単です。また、「多分、大丈夫だろう、やっちゃんえ」という無責任な考えと取り組みは最低です。そうではなく、「どうしたら不可能を可能にできるのか」、「可能にするためにクリアしなければならないことは何なのか」ということを、情報を収集し、専門家の意見を聴き、その上で、みんなで知恵を出し、工夫し、汗をかくことで、目標にたどり着くことはできるのです。このことは、もちろんコロナに限ったことだけではなく、この先の生徒諸君の長い人生において、どんな困難に直面しても、しなやかに、そして力強く生きていく上での貴重な経験として、胸に刻んでおいてください。

さて、次は中学生として最も大切な学習についてです。私は、みなさんが各教科の先生方と共に、授業で真剣かつ楽しそうに勉強している姿を見るのが好きで、いつも各教室や体育館、校庭をうろうろと見て回っています。そこで感じることは、学びに対してまだ控えめだということです。先生の話の黙って聞いて、ノートを取り、先生がやりなさいと言った課題をやり、できた者が発表する…。これでは、これからの世界では力強く生きてい

けません。もっと積極的に自分の意見を発表したり、仲間の考え方や解き方を聴いたり、疑問に思ったことを質問したり、そして分からない時は分からないと言い、先生や仲間に教えてもらおう。このような積極的な学びができないと、将来、何事も全て、受け身の生き方になってしまいます。これからの時代は、自ら課題を見つけ、仲間と力を合わせながら、課題解決に必要な情報を様々な角度から収集したり、積極的に情報発信したりしながら解決をし、より良く生きていく力を身に付けて行かなければなりません。飯沼中学校から世界へ、飯沼中学校から未来へと、卒業生が巣立ち、活躍できるように、先生方も日々、教師としての勉強をしています。みなさんもこれからもっともっと、積極的に学び、成長してください。

いよいよ明日からは、待ちに待った夏休みです。1、2年生の生徒諸君は、学習と部活動をしっかりと両立し、学習については、予習を中心にやるのか、復習を中心にやるのかは、自分でよく考えてやってください。2学期からの飛躍のための足固めの期間としてください。また、3年生の生徒諸君は、なんといっても学習をがんばることで。受験とは他の受験生との点数による勝負です。各高校では、だいたい同じくらいの学力の中学生達が受験をするわけですから、勝負の分かれ目は、1点をきちんと取るかどうかということなのです。期末テストや東部地区の学力テストで、時間が余り、突っ伏して寝ている3年生を見かけました。部活動での大会やコンクールを思い出してください。当日だけ必死にやったところで、結果はついてきませんでしたよね。受験も同じです。人事を尽くして天命を待つという言葉があります。やれる事はすべてやり尽くし、あとは神様の出す結果を待つのみということです。これから毎日、その日一日の自分の取り組みに向き合いなさい。人事を尽くして天命を待つ、というところまで、自分が取り組んでいるのかどうか、自分で自分に問いなさい。

明日からの夏休み、健康と安全に気をつけて、次にみんなが揃うのは、8月30日の月曜日、2学期の始業式で元気いっぱいの笑顔で会いましょう。

令和3年7月20日 春日部市立飯沼中学校長